



Tokyo Gakugei University Repository

東京学芸大学リポジトリ

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

Title	(講演)「環境教育学を考えるために」掲載に寄せて(fulltext)
Author(s)	原子,栄一郎
Citation	環境教育学研究:東京学芸大学環境教育研究センター研究報告(21):99-99
Issue Date	2012-03-23
URL	http://hdl.handle.net/2309/135832
Publisher	東京学芸大学環境教育研究センター
Rights	

【講演】「環境教育学を考えるために」掲載に寄せて

ここに掲載するのは、2011年11月20日（日）に東京学芸大学環境教育研究センターで行われた環境教育研究会¹⁾で、小川潔先生（東京学芸大学教育学部環境科学分野）がお話しになられた「環境教育学を考えるために」の一部である²⁾。

小川先生は、本年度をもって東京学芸大学を退職される。多岐にわたる活動の中で環境教育に限るならば、それは自然保護を軸にした自然保護教育として展開され、公害教育とも共鳴し、後にはまちづくりにまで発展することになった。この講演録にはその全容が語られており、それを元にして先生がお考えになる環境教育学が素描されている。

この講演録とあわせて、2012年2月18日に国立オリンピック記念青少年総合センターで行われた「環境学習シンポジウム」でお話しになられた「私の学び：自然保護教育からまちづくりまで」³⁾をお読み頂くと、小川環境教育論をよりよく理解することができるだろう。

「自然と人間のかかわり、そして教育・学習」を特集テーマとする『環境教育学研究』（第21号）に小川潔先生の講演録（配布資料2点を含む）を掲載することができたのは、望外の喜びである。

（原子栄一郎）

注

- 1) 環境教育理論研究会 Group 'Genesis'の第1回研究会である。詳しくは、日本環境教育学会（2011）『環境教育ニューズレター』第95号、1頁を参照のこと。
- 2) ここに掲載するのは、研究会の午前の部で話されたものである。この他に、午後の部で話された小川先生の個人史と全体での質疑応答の記録がある。研究会全体の記録は、別途刊行の予定である。
- 3) 東京学芸大学環境教育研究センター（2012）『環境学習シンポジウム：「環境教育学」への新たな提案 要旨集』16頁。